

平成27年第1回加賀市総合教育会議

招集日時 平成27年5月25日(月曜日) 午後1時00分開会/午後2時00分閉会
招集場所 市民会館2階 第7会議室
出席者 宮元陸市長
教育委員会 上田政憲委員長、中西修一委員、酒谷百合子委員、山下裕嗣委員、山下修平教育長
会議列席者 掛山事務局長、山田次長兼学校指導課長、梶谷教育庶務課長、渡部教育庶務課長補佐

平成27年第1回総合教育会議開会宣言

宮元市長

挨拶

総合教育会議、国の新しい制度ということで、これまでいろんな議論もありましたが、行政と教育委員会が、それぞれの立場でどうしたら良いかという連携をより深めていくということが求められている訳でして、我々は予算執行権を持っていますけれども、教育委員会の考え方、そして我々、行政としての考え方を摺り合わせをしながら、有効な教育予算をどう使っていくかということをお互い知恵を出し合いながら考えていきたいなと思っております。

少子化も加速して子供たちが少なくなってきましたが、どう立派に育てていくかということが、我々の大きな使命となっておりますので、総合教育会議を通して、市民の方々により理解を深めていただけるような、そういう提言や政策を考えて実行していきたいなと思っております。また、よろしく願いいたします。

梶谷課長

ありがとうございました。続きまして、教育委員会、上田委員長からご挨拶いただきます。

上田委員長

みなさん、こんにちは。ご存知のように4月1日より新しい教育委員会制度が発足いたしました。宮元市長にはさっそく総合教育会議の開催をしていただきまして、誠にありがとうございます。

私も教育委員といたしましては、これまで加賀市の子供たちの心身ともに健全で心豊かに、そして未来に対してたくましく生きる力を身に付けるということを念頭に活動してきましたが、こうして初めて市長さんと共に子供たちの為に力を尽くしていくという機会が与えられたことを喜んで、頑張っていきたいというふうに思います。

感想にもなりますが、市長さんと会う度に、市長さんの4月5日成人式のお話を思い出します。20歳を迎えた明日の加賀市を担う若者に対しまして、市長さんの方から、ほんとに心温まる話を、特に母親の愛情と、それに感謝する気持ち、ひいては家族の力というものを改めて認識するいい機会であったと思いますし、実際その場が、少しざわつき始めていた、あの雰囲気シーンと静まり返って、皆さん市長さんの話に心から感動していたということが、たいへん印象に残っております。そういう市長さんの若者に対する期待、これから共に明日の加賀市を担う子供たちの為に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

梶谷課長 ありがとうございます。
それでは、協議に入らせていただきます。総合教育会議の会議は市長が設置することと、法に定められておりますので、会議の進行等は市長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

宮元市長 では、よろしくお願いいたします。
それでは、案件の（１）総合教育会議における協議、調整について、協議を進めていきたいと思っております。では、お願いいたします。

- 総合教育会議における協議、調整について
梶谷課長 資料に基づき説明

宮元市長 今ほどの説明について何かご質問等ございませんか。
ちょっとお伺いしたいんですが、具体的な協議事項を書いておりますけれども、これは一例なんですよ。

梶谷課長 はい、一例です。例えば、こういうことが考えられるということです。

宮元市長 では、ご意見がないようですので、案件の（２）大綱の策定と加賀市教育振興基本計画について、お願いいたします。

- 大綱の策定と加賀市教育振興基本計画について
梶谷課長 資料に基づき説明

宮元市長 今ほどの、大綱の策定と加賀市教育振興基本計画についての説明について何か質問はございませんか。

総合教育会議をすでに開催をしている県内の自治体と大綱を策定している自治体は、すでにあるんですか。

梶谷課長 はい、ございます。県内は、小松市は総合教育会議を開催しまして、パブリックコメントも取りまして、6月に大綱の策定がされると聞いております。

宮元市長 小松だけですか。

梶谷課長 県では小松だけです。

掛山局長 小松は教育振興基本計画はありません。大綱を新しく作りました。

梶谷課長 国内では教育振興基本計画をそのまま大綱にするというところが、何件かございます。ちなみに小松市は、4月1日から教育委員会体制も変わっております。

宮元市長 今ほどの件で何かございますか。

酒谷委員 この大綱というのは、いつまでに決めなければならないという期間はあるんですか。
梶谷課長 明確な期間はございません。しかし法が4月1日から施行されておりますので、なるべく早い時期にということでもあります。やはり今年度中にとというのが、だいたいの目安になると思っております。

宮元市長 加賀市の教育振興基本計画というのは、平成24年にできたのですか。

掛山局長 平成24年です。

宮元市長 これから、この大綱策定の協議をしていくということですね。

梶谷課長 はい、そうです。

宮元市長 他にないようですが、せっかくですからそれ以外に何か良いご意見、ご質問ございませんか。

掛山局長 今後のスケジュールについて、ご説明させていただきます。

● 加賀市教育大綱の策定方針・策定スケジュールについて
梶谷課長 資料に基づき説明

宮元市長 この件で何かございますか。

山下委員 地域住民の意向をより一層反映するというのが、大きく出ているんですが具体的な手段というものは、何か出ているんですか。

梶谷課長 こちらのほうは、総合教育会議や大綱策定で市長が民意を代表する立場に加わるということなので、教育委員会だけで作るものではないというふうな意味合いでございます。

特に、会議というかシンポジウムのものを開いて意見を求めるとかいうことではございません。パブリックコメントがこちらの方に該当してくるのではないかなと思います。

宮元市長 大綱のひな形はありますか。

掛山局長 今日用意していませんが、小松市が作ったものがあります。

宮元市長 先ほど、大綱は教育振興基本計画の基本目標程度という話があったが、小松市もその程度ですか。

梶谷課長 小松市は基本的な施策も入っていますが、基本目標だけでも可能です。

宮元市長 基本目標だけでは大雑把な感じがします。

梶谷課長 加賀市教育振興基本計画では基本的な施策の下に、さらに細かい施策がありますが、ここまではいかないですが、やはり基本目標か基本的な施策になると思います。

掛山局長 加賀市教育振興基本計画では個別の事業まできちんと網羅されていますが、大綱でどこまで出すかというのは、この会議の経過を踏まえてということになります。

宮元市長 基本目標だけだと、なんでも解釈できるものになってしまう。

酒谷委員 大綱というのは、どこまで踏み込んでいくかっていうのは、各市町村、自治体で考えて作っていくものなんですか。例えば、大雑把な市町村もあれば、詳しく作っているところもあるということですか。

梶谷課長 このまま大綱ということもありますし、基本的には大綱なので事業名までは入らないという形になります。新たに定めて、基本計画がないところは、ある程度踏み込んだところもありますけれども、基本計画がありまして、それにないようなものがあれば、大綱で作っていくということです。

まだ、インターネットで検索しても数がそれほど多く出てきてません。大綱の方の策定はまだ少ない方ではないかなと思います。

掛山局長 総合教育会議の中で大綱内容が変わってくれば、基本計画も見直す必要が出てきま

す。

梶谷課長 この時代24年ですけども、足りないものを補足していくという形で新たに市長がうち出した物を、上乘せするというのは十分可能であるのかなと思います。

掛山局長 だいたい網羅されているんですけども、中身に強弱があったりするので。

山下教育長 例えば、教育振興基本計画を大綱とすると定めた時は、ここに書いてある内容がすべて含まれるという意味合いになりますね。

梶谷課長 そうです。この場では、こちらにあるものと、いわゆる市長の政策を受けたものとを合わせた形でまとめればと思っております。

資料のほうは、関連資料も合わせてお届けするという形をとらせていただきたいと思っております。

宮元市長 またそれぞれの委員の方々に資料を読み込んでいただいて、次は8月ですね。ということで、これだけは言っておきたいということはありませんか。なければ、これで、総合教育会議を閉会させていただきたいと思っております。

今日は、お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございました。

以上、会議の顛末を記載し、会議録を作成する。